



大鋸の比較
洋鋼製⑤と玉鋼製



洋鋼で作られた黒光りのする立派な大鋸を来館された方から贈られまし



■21

玉鋼で出来た大鋸(おが)

玉鋼製の刻印



洋鋼製の刻印



た。その時から、前挽大鋸のことを調べたいと思ふようになった。洋鋼製と玉鋼で作られていた大鋸にはどんな違いがあるのでしょうか。

玉鋼製の、それを入手すべく、インターネットで調べてみると、幸いなことに新潟県の三條市で金物問屋を営むTさんがお持ちなのが判りました。以前、有名な鍛冶屋、岩崎重義氏のナイフ道場の世話をしていたとき、日本刀の見方を教えてい

ました。刀剣と大鋸のことは長らく親しい付き合いですが、最近では新潟県へ出向く機会がなく、ごぶさたをしていました。早速電話をしました。電話の向こうの彼は、「久しぶりで、すとのあいさつその後、私は本題の玉鋼でできた大鋸を譲ってほしいとお願したところ、形状もよく、刻印の見える大鋸を送っていただけることになりました。

わくわくした気持ちで見ての「出羽鋼(いずはがね)鉄は備後・備中産と八里平右衛門は記しています。甲賀で

この大鋸には五種類の刻印があり二種類は読めました。『近江甲賀』と『天彦』です。あれ？あれ？この刻印、本で見ることがある。本棚から図書『むらの鍛冶屋』を出し、ページをめくりました。後半の部分に『近江鍛冶屋の広がり』と『近代』——近江甲賀にて

衣川製鎖工業・衣川良介社長

画像はカラーと交換しています。

日刊産業新聞 14・5・12

【参考図書】むらの鍛冶屋 香月節子・香月洋一郎 平凡社 1986年